

令和7年度 第3回 南丹市市民参加と協働の推進委員会 議事録

日 時：令和7年10月10日（金）午後2時～午後4時30分

場 所：南丹市役所 3号庁舎 2階 第4会議室

出席者：〔委員〕金 祐榮委員長、西田 香代子副委員長、高橋 博樹委員、
米山 悟子委員、奥村 幸代委員、平井 静男委員
〔事務局〕岡部課長、北村課長補佐、大坪主事、五十嵐主事

1 開会

事務局	定刻になりましたので、ただ今から南丹市市民参加と協働の推進委員会を開会いたします。 本日の司会進行を務めます地域振興課の岡部でございます。どうぞよろしくお願いいたします。委員のみなさまには、ご多用の中、ご出席たまわりましたことに厚くお礼申し上げます。 なお、本日は和辻委員がご都合が合わず欠席となっておりますので、ご報告いたします。 それでは、開会にあたりまして、金委員長からあいさつをいただきます。
委員長	皆さん、本日もどうぞよろしくお願いいたします。
事務局	ありがとうございました。 それでは、ここからの進行については、進行の委員にお願いいたします。

2 議題1 「南丹市市民参加と協働の実施計画の評価」について

委員	では、次第に沿って進めさせていただきます。 議題「南丹市市民参加と協働の実施計画の評価」について、事務局から説明をお願いします。
事務局	それでは、「南丹市市民参加と協働の実施計画の評価」について、説明させていただきます。 ※議題1「南丹市市民参加と協働の実施計画の評価について」に基づき説明 前回の委員会で、計画の令和6年度実績と令和7年度計画について、ご報告させていただいたところ、毎年計画を作成しているものの、協働が進んでいるのかどうかを評価するのが難しい、何か指標となるものがあった方が良いのではというご意見をいただきました。 事務局で検討した案としては、市民参加、協働のいずれも、市と市民がともにまちづくりに関わるものであることから、市と市民の双方から評価を行い、その評価をもとに、委員会にて市民参加と協働がどれだけ進んでいるのかを評価してはどうかと考えています。 それぞれの評価については、

	○市側の評価：評価・コメント欄に加え、各事業を点数で評価（3点満点） ・各事業の点数化については、市民参加と協働の実施計画の構成をもとに、「市民参加」「協働」「仕組み」のそれぞれで、評価指標を作成。指標に基づき、各課にて点数をつける。 （例）市民参加に関する事業の評価指標 市民が市政に主体的に参加できる機会を設けたことで、 3点：幅広い意見を集めることができ、意見を施策等に反映することができた 2点：幅広い意見を集めることができた 1点：期待していたような意見を集めることができなかった ○市民側の評価：市民意識調査の回答を活用 ・市民意識調査において、市民参加・協働に関する質問項目があるため、その回答を市民側の評価として活用する。 市民参加：「市民の声」が市役所に届き、市政に反映されていると思うか 協働：市民と協働してまちづくりに取り組んでいると思うかを考えています。事務局案としては以上です。
委員	市民意識調査を活用する場合、質問項目を追加するということでしょうか。
事務局	質問項目を増やすかどうかも含めて検討が必要と考えています。現状では市民参加と協働のそれぞれに該当する質問項目があるため、その回答を市民側の評価として活用できればと考えています。
委員	たくさんの質問がある調査のなかで、質問項目を見て、市民参加や協働のことを思いながら回答する方は少ないように思います。
事務局	市民参加と協働の実施計画に関して、独自でアンケートを実施しても、なかなか回答いただくのは難しいと考えています。ただ、審議会等の公募委員や、業務を委託している委託先等、実際に参加いただいているような方を対象にアンケートを実施することは可能かと考えています。
委員	市民参加や協働は、なくても困らないものだと思います。子育てに関する事など、生活に直結する内容であれば市民の意見も集まりやすいと思いますが、正直なところ、市民参加や協働に関しては市民の意識がなかなか集まりづらいと感じます。
委員	市民は積極的に何か活動をしたり、自治会が活性化したりすることで、結果として、自分たちが取り組んでいたことが「市民参加」や「協働」だと気づくのだと思います。色々取り組んでいる時点で、市民参加や協働が進んでいるのかを評価するのは難しいと思います。まずは、市側の評価が大切ではないでしょうか。
委員	前回の委員会では、市の職員が事業を実施して楽になったかどうかを聞いてはどうかという意見があったと思います。それをA・B・Cや点数で聞くと、今より可視化できてわかりやすいのではと思います。
委員	楽という表現は考える必要があるかもしれませんが、協働をして助かったのかどうか大切だと思います。評価を通して、市の職員が協働をもっと進めたい、協働について知りたいという方向に進めたいです。
委員	市民参加や協働に関するゴールが見えず、何をもって、協働が進んでいるのか、

	判断ができません。
委員	協働が進んだかどうかの評価は担当課ではなく、この委員会で評価すべきだと思います。この委員会で評価をするためのヒントをどのように各課から集めるかという話をしていけないといけないと思います。
委員	各担当課にて自己評価をしてもらい、その評価をもって委員会で評価するのも1つかと思います。
委員	事業ごとではなく、課として、協働が進んでいるかどうかを聞くなど、もう少し単純にしてもいいのかなと思います。もしくは、市の職員全員に、協働が進んでいると思うか、聞くのもよいかと思います。 聞く内容としては、協働が進んだか、進めたいか、やって良かったかななどがあるかと思います。
委員	続けたいかどうか也很重要だと思います。
委員	楽になったかどうか聞きたいです。
事務局	前回の委員会では、楽という表現を少し言い換えて、負担が軽くなったかどうかを聞くのはどうかという意見もありました。
委員	市としては、こういった質問への回答は負担になるのでしょうか。
事務局	事業ごとに聞くと、課によって担当している事業数に差があるため、事業数の多い課にとってはどうしても負担になるかと思います。担当課ごとに質問をする方が、事業数に関係なく、各課とも答えやすいのではないかと思います。
委員	評価・コメント欄はそのままでしょうか。
委員	評価・コメント欄はそのままの方が良いと思います。各課ごとに質問をし、その回答では書ききれなかったものも評価・コメント欄に補足として書いてもらうことができると思います。
委員	評価・コメント欄は今までどおり残し、各課に総合評価として先程の質問項目に回答してもらおうとわかりやすくなるのではと思います。何年か継続して続けることで、データが蓄積され、協働の進み具合が確認できてくるのではないかなと思います。
委員	各課で行う評価ですが、5段階評価とするのが良いかと思います。事務局案では3段階評価でしたが、5段階評価にすることで、担当課の考えがもう少し詳しくわかるのではないかと思います。
委員	事務局案のように、各点数ごとにコメントは考えなくて良いと思います。数字だけを並べておいて、評価してもらおう形で良いと思います。これができるくと、市民参加や協働の進み具合が見え、ゴール設定もしやすくなるのかなと思います。
委員	みなさま、ありがとうございました。 では、続いて、議題2「市民参加と協働の実施計画」について、事務局から説明をお願いします。

3 議題2「南丹市市民参加と協働の実施計画（3ヵ年計画）」について

事務局	それでは、「南丹市市民参加と協働の実施計画（3ヵ年計画）」について、説明させていただきます。 前回の委員会でもお伝えしていましたが、本計画は来年度から新たな計画期間に
-----	---

	入ります。新たな計画の作成にあたり、現在の計画期間中にいただいたご意見を中心に、修正箇所一覧に記載のとおり修正しています。 【修正箇所】※議題2 修正箇所一覧に基づき、説明 ・ 4 ページ 市民ワークショップ 前年度の委員会にて、市民が参加できる／参加したワークショップを広く記載できるよう、記載の要件となっている「ワークショップ委員の公募」に関する記述を削除してはどうかという意見をいただいたため、修正をしています。 ・ 5～8 ページ 審議会、委員会等による調査及び審議 審議会等における公募委員の導入について、昨年度の委員会で、「専門性を有するため」という理由は公募を導入しない理由にならないのではというご意見をいただき、令和7年度計画から反映しています。今回、それに併せて、説明文から専門性に関する記載を削除し、修正しています。 また、令和7年度計画から公募を実施していない審議会を公開と非公開のものに分けて整理をしたため、修正しています。 ・ 11 ページ アンケート 説明文がなかったため、追加をしています。 修正箇所については以上です。なお、軽微な変更については、これまで通り、随時、対応できればと思います。本日いただいたご意見をもとに修正し、3ヵ年計画の作成を進めたいと思いますので、よろしくお願いします。
委員	事務局から報告がありました。みなさんのご意見・ご質問をお伺いしたいと思います。
委員	そもそも、この3ヵ年計画はなんのために作成しているのか、改めて確認をしたいです。
事務局	市民参加と協働の実施計画は、計画の「はじめに」に記載のとおり、南丹市市民参加と協働の推進に関する条例に基づき、市が実施する様々な事業のうち、市民参加の機会や協働の視点でみた事業の情報を市民の方に提供するために作成しています。
委員	市民向けに公表することを目的に作成しているということであれば、この委員会ではこの計画の評価はしなくて良いということでしょうか。
事務局	計画の時点で評価するというよりは、実績に対して、先程もお話しいただいたような、協働がどれだけ進んでいるのか等について、委員会の場で議論いただくことになると思います。また、この計画が本当に良いのかどうかや、前年度から議論いただいている公募委員の導入について等、様々な意見をいただくことは必要だと考えています。
委員	公募委員の募集に関して、令和6年度の実績を見ると、数名応募があるところもあれば、0名のところもあり、それぞれの審議会によって温度差があるように感じます。実際に声を聞きたい人に公募委員になってもらえるような募集の仕方ができているのか疑問に感じました。

委員	ホームページでの広報だけでなく、公募委員が出やすい仕組みを作らなければならないと思います。
委員	公募委員も報酬は出るのでしょうか。
事務局	公募委員にも他の委員と同様に報酬が出ています。
委員	公募委員の募集があっても、自分に関係のあるものとして見ている人が少ないように思います。
委員	公募委員の募集の一覧を作成してはどうでしょうか。
事務局	各年度ごとの計画作成にあたり、公募を実施する予定がある審議会について、各課から報告があるため、その内容をもとに、次年度はこの審議会での公募委員の募集を予定していますというような一覧は作成できると思います。
委員	募集を予定している審議会の名前、簡単な説明、問合せ先が記載されている程度の簡単な一覧で良いかと思います。いつでも誰かに渡せたり、地域の回覧板で回してもらったり、ホームページにそのデータを載せても良いかと思います。広がり方が1つ増えるのではないかなと思います。
委員	タイミングが合わず掲載できなかった審議会についても、随時募集をするのでホームページをご覧くださいというように、記載があると良いと思います。
委員	その他、特にご意見等なければ、予定しておりました内容については以上です。全体を通して他にご意見等はございませんか。
委員	次回の委員会について、日程調整できればと思います。 ※日程調整の結果 次回 2月20日（金）14時～に決定
委員	ありがとうございました。 それでは、本日、委員のみなさんから出された意見を参考に、市の方で検討していただければと思います。 特にご意見等がなければ事務局へお返しします。

4 閉会

事務局	本日は、貴重なご意見を頂戴いたしまして、ありがとうございました。 本日のご意見を踏まえ、さらに市民活動が活発化するような取り組みを進めてまいりたいと思います。 それでは、以上をもちまして、南丹市市民参加と協働の推進委員会を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。
-----	---